

用語解説

『染井吉野』

江戸時代のおわりごろに江戸の染井村で売り出された栽培品種。花つきがよい、木が早く大きく育つ、一斉に咲くなどの特徴からお花見の桜として人気をよび、明治時代以降に全国の学校や公園などに植えられて広まった。 → 3、4

栽培品種

自然に存在しているものではなく、人が何らかの価値を見出して選抜、栽培しているもの。野生植物の分類(種、亜種、変種、品種)とは異なるものであり、その違いを示すために本書では漢字をシングルクォーテーションで括った表記にしている。 → 5、11

六高(旧制第六高等学校)

1900年3月に岡山県岡山市に設立された官立旧制高等学校。1945年、岡山空襲で六高にある『菊桜』は焼失した。1949年、新制岡山大学に包括された。1950年より六高の跡地は岡山朝日高等学校に継承された。 → 6、18

『三好学(1861 - 1939)』

東京帝国大学理学部の教授となり植物生理学を日本にもたらし、また日本の桜に対する研究においても大きな業績を残した。三好学によって栽培品種の記載・天然記念物の指定をされた桜は全国各地に多数ある。 → 6、18

全国植樹祭

豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるために、国土緑化推進機構と都道府県共催により開催する国土緑化運動の中心的行事。各都道府県において毎年春に開催されていて、これまでの大会では天皇皇后両陛下の御臨席を賜るとともに、県内外から多くの参加者を迎え式典行事や記念植樹が行われてきた。2024年には第74回大会を岡山県で開催し、『菊桜』がお手植えされる。 → 10、29

と取り木

発根した枝を親株から切り取り、別の場所へ植える増殖方法。高粱城南高等学校の『菊桜』。 → 11

参考文献リスト(著者五十音順)

生駒義博『生物雑記1, 名桜キクザクラ』(『郷土と科学』7(2)、鳥取県立科学博物館、1962)
勝木俊雄『日本の桜(増補改訂 フィールドベスト図鑑10)』(株式会社学習研究社、2009)
勝木俊雄『桜』(岩波新書、2015)
勝木俊雄『桜の科学 日本の「サクラ」は10種だけ?新しい事実、知られざる由来とは(サイエンス・アイ新書)』(SBクリエイティブ株式会社、2018)
勝木俊雄『1さくらってどんな木?(もっと知りたいさくらの世界)』(株式会社汐文社、2020)
佐藤清明『名花「岡山の菊桜」』(岡山博物同好会、1952)
佐藤清明『随筆備中植物誌一巻の菊桜一』(『備中の植物』第四号、1955)
佐藤清明『枯死を伝えられた名花 岡山にある菊桜』(『植物手帳』118号、1976)
鳥取市教育委員会『史跡鳥取城跡(久松公園)サクラ管理計画』(2018)
難波早苗『岡山の楷の木と菊桜』(『岡山の自然と文化』11、岡山県郷土文化財団、1992)
児子昌志・藤井新太郎『菊桜に関する考察』(『六高会報』第3号、2004)
児子昌志・藤井新太郎『六高菊桜・増殖顛末記』(『六高会報』第7号、2008)
藤井新太郎『六高の菊桜について』(『六高会報』第5号、2006)

おわりに

はじめて私が菊桜に出会ったのは2017年の春、佐藤清明生家の玄関わきの珍しい木について、家の方から「清明が非常に大切に育てた‘菊桜’で、花も散り方もかわいいです」と話を聞いた時でした。その時から、‘菊桜’についてもっと知り、保存育成しなければと強く心に決めました。

佐藤清明が1944年、岡山空襲を予見して「六高菊桜」を里庄町に疎開させ接ぎ木をして、その命をつないだ‘菊桜’だったのです。佐藤清明はこのことを「奇跡」だと記しています。

サンフランシスコ平和条約が調印された翌年、1952年に昭和天皇が

冬すぎて菊桜さく春になれど 母の姿をえ見ぬ悲しさ

と詠まれています。この‘菊桜’こそ六高にあったものを1931年に皇居に献上し植樹された「六高菊桜」です。

2018年から佐藤清明資料保存会を母体にして、菊桜を保存する会として発展、樹木医の指導のもとに里庄町内への植樹と育成をしてきました。また、六高記念館を数回訪問し、会報や談話などを通して六高同窓生の方々の‘菊桜’への熱い思いと増殖保存のため努力をされていることに感銘を受けました。

2024年には岡山県で全国植樹祭が開催され、‘菊桜’も植樹されます。その年の春にも、里庄町をはじめ岡山県内の‘菊桜’は見事に気品の高い花を咲かせて、皆さまの感動を呼ぶことでしょう。

おわりに編集にあたり、貴重な資料を提供してくださった方々、植樹育成にお力添えをくださった方々、また菊桜育成保存会の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

福武教育文化振興財団には助成により、本書の出版を後押ししてくださいました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

菊桜育成保存会代表：生宗 脩一





執筆者（掲載順）

加藤泰久（はじめに）

小野礼子（1章、4章）

徳山容（1章、3章（岡山朝日高等学校、六高記念館、たけへの森公園、高梁城南高等学校、高梁中央公園））

大森悠平（2章、3章はじめ、装丁・デザイン、イラスト）

藤井成加（3章 佐藤清明生家）

西崎康男（3章 里庄町歴史民俗資料館）

佐藤健治（3章 貞利家）

高橋達雄（3章 高岡神社）

生宗脩一（3章（岡山後楽園、原田家、後楽園前バス停そば、材木育種センター 関西育種場、浅野家）、おわりに）

土岐隆信（3章、岡山大学）

稲田多佳子（3章 岡山県立青少年農林文化センター 三徳園）

江田伸司（鳥取県に‘菊桜’があるの？）

ご協力①（順不同・敬称略）

佐藤清明資料保存会

会 長：加藤泰久

副会長：杉本秀樹、生宗脩一、高田正信

顧 問：江田伸司、佐藤美清、土岐隆信、木下浩、岡本泰典、稲田多佳子

理 事：小寺大輔、小野礼子、佐藤健治、佐藤泰徳、高橋達雄、才野基彰、徳山容、安原清隆、伊藤智行

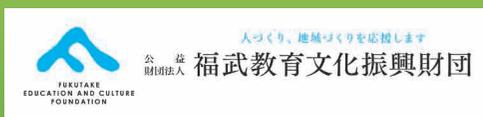
監 事：杉井陸保、西崎康男

会 員：内田二三雄、安倍郁雄、小笠原正志、小野晃、才野嘉子、佐藤忠士、中尾茂男、中川幸徳、林富士男、藤井成加、村山達也

ご協力②（五十音順・敬称略）

浅野家、江田一樹、岡山県後楽園事務所、岡山県立岡山朝日高等学校、岡山県郷土文化財団、岡山県立青少年農林文化センター 三徳園、岡山県立高梁城南高等学校、岡山大学、鐵慎太郎、勝木俊雄、金政泰弘、國忠征美、倉敷市立自然史博物館、ケア・フレンズ岡山、清末忠人、清末幸久、貞利家、里庄町歴史民俗資料館、森林総合研究所 九州支所、森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場、杉山肇、細田隆博、高岡神社、高梁市都市計画課、竹田宣明、たけへの森公園、武美代子、鳥取県立博物館、鳥取市教育委員会、鳥取市歴史博物館、原田家、藤井新太郎、万城あき、横山展宏、六高記念館

助成 /



佐藤清明ゆかりの‘菊桜’

発行日 2023年2月15日

発行者 菊桜育成保存会

〒719 - 0301 岡山県浅口郡里庄町里見 2621 里庄町立図書館

TEL : 0865 - 64 - 6016 FAX : 0865 - 64 - 6017

Mail : slnet@slnet.town.satosho.okayama.jp

HP : <https://www.slnet.town.satosho.okayama.jp/>

印刷・製本 サンコー印刷

佐藤清明顕彰特設サイト



「会報など出版物」のページでこの冊子のPDFデータを見られます。